

目的である。

ホ 演説會 演説會と講演會との差は前者は煽動を加味するに及して、後者は宣傳を専らとする点が一つと、講演は課題を一つに限るのを常とするが演説に於ては数名の弁士が異った題目を携へて聴衆の意識の高揚と感情の激発に努める相違になる。若し演説は、講演は聴衆の冷静なる理解を促すものであるが、演説は彼等を行動に直接導かんとするものだ。

ヘ 討論會 之れは學校に附随すべき試みであるが、一定の時事問題、理論戰術等關して、既に研究取得したるものを基礎として、學生自ら更に研習する方法である。討論會の長所は單なる目の學問や耳の學問をして眞に腹からの學問たらしめる所にある。討論會を通じて始めて、初心者は自らの愚病をふるい落とし得るであらうし、また自己の獨りよがりの謬見を訂正される。討論會は先輩の審判者によつて結論を與へられるを要する。

ト 研究會 この目的は主として開士の養成にある。ブルジョア高等教育に比較すればそれは大學院である、労働學校卒業程度以上の組合の實際運動者であつて、所求指導者たる資格を具備した者を以て組織する比較的小さな連續的集合である。こゝで研究されることは、主として戰畧、戰術の問題である。而してそれ等は、現実に發生しつゝある爭議、政治問題等々に

關係して研究されべきである。

研究會はその性質上、非公開的である。然し乍らこゝで研究されることは、運動上最も重要性を帯びたものであり、その研究の結果は運動一般に貢獻する所多大なるべき筈のものだから、研究の結果は必ずプリントにして発表されなければならない。

研究會は、討論會と等しく自主的性質のものではあるが、倍價に價する先輩の不斷の指導を必要とする。研究會が統一なき、或は結束なき優越或は論争の集會に終る事の屢々なるは、適當なる指導者を欠くが故である。

チ 讀書會 地方の小組合等で、上述の如き相當大規模の學校或は講習會等を開設する事の出来ない所では讀書會の如きは非常に役立つ。回讀書の選定及びそれ等の順序等關しては、先輩の意見を聞くべきである。讀書會員は、定期會合を開いて、回讀書物の内容に關する質疑討論を行ふべきである。また、これ等の會合に於ては一般新聞雜誌等に現はれる時事問題、組合機關紙等の内容の批判研究を怠つてはならぬ。

凡て、これ等の小會合の最も危険なる弱點は、それ等が偶々大きな運動と切り離されて居るが故に、そして適當なる指導者を得るに困難なるが故に、とかく擴善的の結論に陥ることである。それは、實際に即しない机上